



新規口座開設限定

BTCC口座開設&入金で、最大**17500USDT**が獲得できる。
お友達を紹介するとさらにボーナスをプレゼント!

今すぐ口座開設/詳細はこちら

カマラ・ハリス陣営が仮想通貨を採用：仮想通貨擁護の初の動き

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/crypto-basics/kamala-harris-campaign-embraces-cryptocurrencies-first-move-in-defense-of-cryptocurrencies>



カマラ・ハリス副大統領が仮想通貨業界との関係を再構築しようと努めていると伝えられており、仮想通貨界に波紋を広げている。この戦略的だが物議を醸す動きは、カリフォルニア州下院議員ロー・カンナがワシントンで主催する重要な会議で注目を集める予定だ。この注目度の高いラウンドテーブルには、仮想通貨のリーダーや政治家のエキサイティングなラインナップが約束されており、デジタル資産の将来と経済形成におけるそれらの役割について議論されます。仮想通貨の世界と政府との関係を再構築する可能性があるこの革新的なイベントをお見逃しなく。

- [カマラ・ハリスはロー・カンナの仮想通貨ラウンドテーブルに参加しますか？](#)
- [優勝レースでハリスのオッズが急上昇？](#)

カマラ・ハリスはロー・カンナの仮想通貨ラウンドテーブルに参加しますか？

FOXジャーナリストのエレノア・テレット氏が報じたところによると、この仮想通貨ラウンドテーブルには著名な民主党政政治家が参加し、カマラ・ハリス陣営の代表も歓迎される予定だという。この動きは、仮想通貨業界で新たなスタートを切るための、仮想通貨推進派の民主党による新たな取り組みを強調しており、実質的な政策転換を示している。しかし、仮想通貨に対するスタンスを変えようとするカマラ・ハリス氏の試みは課題に直面している。最近、テネシー州上院議員ビル・ハガティは、ハリスの新たなアプローチについて深い懐疑的な姿勢を表明し、「ナッシュビルでのビットコインカンファレンスでのドナルド・トランプ大統領の目覚ましい成功を見て、カマラ・ハリスが他の多くの問題で行ってきたように、発言をしているのは驚くべきことではない」と述べた。性急に180度方向転換し、仮想通貨支持者に見えるようになる。」さらに、ハガティ上院議員はバイデン・ハリス政権の過去の反仮想通貨政策を批判した。カマラ・ハリス陣営も参加したこの仮想通貨ラウンドテーブルは、一部の政治家からの批判に直面しているにもかかわらず、仮想通貨に対する民主党のスタンスが変化する可能性を示唆している。

ハガティ上院議員は、カマラ・ハリス氏の最近の仮想通貨への移行を批判し、バイデン・ハリス政権の過去の反仮想通貨政策と矛盾していると述べた。ハガティ氏は、ハリスの新たな立場が仮想通貨コミュニティを揺るがす可能性は低く、仮想通貨コミュニティは共和党の価値観と一致すると信じていると強調した。同氏は、2024年のビットコイン・ナッシュビルのイベントでトランプ前大統領が温かく迎えられたことを指摘し、共和党は仮想通貨愛好家とのつながりがより強いと主張した。「共和党は真の仮想通貨政党であり、カマラ・ハリス氏の11時間の努力によってそれは変わらない」とハガティ氏は述べた。ハリス氏のロー・カンナ氏の仮想通貨ラウンドテーブルへの出席は注目に値するものの、同政権のこれまでの反仮想通貨に対する姿勢に対する認識を払拭するには十分ではないかもしれない。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

優勝レースでハリスのオッズが急上昇？

ハガティ氏の批判のさなか、人気の政治取引プラットフォームであるポリマーケットは最近、ハリス氏を支持する顕著な動きを観察している。わずか10日間で、ハリス氏の勝利確率は16%以上急上昇したが、ドナルド・トランプ氏は同様に低下した。この大幅な上昇により、ハリス氏の勝利確率は44%となり、トランプ氏の54%に僅差で及ばず、接戦が予想される。一方、7月初旬には民主党下院議員ロー・カンナ氏が仮想通貨規制に関する注目度の高い円卓会議の先頭に立って、リップルCEOのブラッド・ガーリングハウス氏や実業家の異端児マーク・キューバン氏などの影響力を持つ人物を集めた。カンナ氏は、この議論の潜在的な影響について希望を表明し、米国における包括的な仮想通貨規制の枠組みへの道を切り開く可能性があることを示唆した。会議から得られた洞察は限られていたにもかかわらず、ガーリングハウス氏はソーシャルメディアでカンナ氏を称賛し、カンナ氏を「優れた」リーダーであると評価した。仮想通貨セクターに積極的に取り組んでいます。この展開する物語は、ハリス氏の確率の上昇とカンナ氏の規制推進が説得力のある背景を形成しており、政治と新興テクノロジーの交差点を強調している。

ハリス陣営の最近の仮想通貨擁護の姿勢は、業界の主要人物から意見が分かれる反応を集めている。注目すべきは、ジェミニの共同創設者であるタイラー・ウィンクルボス氏が疑問を表明し、ゲイリー・ゲンスラー氏の解任を要求したことだ。同氏は言葉だけでは不十分だと強調し、カマラ・ハリスに対し、ゲンスラー氏の解任、評判の高い選手を対象としたSECの措置を撤回、チョークポイント2.0作戦の停止などの即時行動を起こすよう促した。選挙運動が進むにつれ、ハリス氏の当選確率は大幅に上昇しており、仮想通貨の規制と導入をめぐる政治情勢に変化が生じる可能性を示している。